

ヘルパー便り



障害福祉サービスの中で、『同行援護』というサービスがあります。これは、視覚障害者に限られた外出支援のサービスです。

まごころでは、このサービスを利用されている方が6名います。このサービスは65歳を過ぎて、介護保険サービスに移行しても利用できるサービスです。

独居のAさんは、毎週曜日を決めて、ヘルパーと一緒に近くのスーパー迄、食品の買い物に出かけられます。なるべく食材を手にとって品定めされたりもしますが、ヘルパーが品物の視覚情報を伝えて選ばれることもあります。何よりご自身で選択することで、満足感も得られ、外出が運動と気分転換になっています。

77歳のBさんは、自宅の近辺を散策するのが日課でしたが、付き添いの妻も高齢と体力低下があり、週1回ヘルパーと一緒に散歩を行っています。歩くコースは決まっていますが、ベンチに座って休憩し、お喋りもする・・・また月1回は、駅前の眼科迄バスで通院の付き添いをし、帰りに駅前で買い物をして帰宅する・・・

いずれの『同行援護』は目的が違いますが、それぞれ利用者の目となり、周りの視覚情報を言葉で伝え、ひと時を共有して過ごしています。

この『同行援護』のサービスに対応するのは、視覚障害のガイドヘルパーの資格取得者または同行援護従事者研修修了者です。現在まごころでは、5人のヘルパーが『同行援護』に関わっています。一人一人の利用者に合わせた外出の支援をこれからも担っていきたいと思います。
(小野木)

デイサービス通信



最後の日を迎えて



各曜日の全員で、記念写真をパチリ📷

デイサービスまごころは少人数の共生型で、お一人おひとり、様々な個性が集まる場所でした。それは井戸端会議のような、家族のような雰囲気、ご利用者様やスタッフのみんなが温かな気持ちで過ごすことができたデイでした。

上の写真の『ま』『ご』『こ』『ろ』は、皆で色とりどりのお花紙を丸めて作りました。個性豊かな利用者さんらしさを表しています。

『感謝』の文字はほぼ毎日ご利用されていたYさんが、コツコツとおひとりで仕上げてくださいました。

ご利用最後の日は、利用者さんとスタッフとともに、涙なみだで締めくくりました。

過去の利用者様やスタッフも含め、みんなで紡いできた楽しい12年間。様々な思い出が溢れてきます。支え、関わって下さった利用者様、スタッフ、ボランティアさん、毎月来て下さっていた貴船むすびの会の皆さま、全ての方々に感謝いたします。ありがとうございました。
(職員一同)



ケアマネジャーの目

今月、特別有料老人ホーム（特養）に入所され、ケアマネとしての関わりが終了することとなったYさん。パーキンソン病の進行で歩行が困難となり、1月中旬まで入院されていました。入院前は独居生活で、ヘルパーの家事支援と訪問看護の体調確認や薬の管理、福祉用具は電動ベッドや手すり、又歩行器に電動車いすをレンタルし、とにかく自分で頑張りたい、と多職種からの支援を受けながら在宅生活を頑張っていました。

退院後は、自宅に帰ることが難しく短期入所生活介護（ショート）を利用されました。利用にあたり、「特養やショートにおける食費、居住費の利用者負担軽減」の申請を行ないました。所得段階に応じて負担上限額が決まり、負担が軽減される制度です。

入院中に区分変更申請を行ない、要介護3以上の認定がおりた為、特養に申し込みをしました。ここで問題となったのが、シーパップの治療です。Yさんは、睡眠時無呼吸症候群で、寝ている間の無呼吸を防ぐために気道に空気を送る装置（シーパップ）を装着していました。そのような医療行為が、特養やショートでは行えないとのこと。本人、ご家族は諦めずに担当医に相談され、Yさんにとって必ず必要な治療ではなく予防的に行なわれていたことが分かり、シーパップをやめることになり、特養への入所が決定になりました。退院され約1ヶ月で、ショートを経由して特養の入所に至ったケースです。特養でも、歩行器で歩けるようリハビリしたいと、前向きなYさん。住み慣れた地元でこれからもYさんらしく元気に暮らしてくださいね！



～耳より情報～

ユニバーサルスポーツ体験交流会

日時：令和6年3月17日（日）

9：30～12：00 【参加無料】

会場：いちのみや中央プラザ体育館

（一宮市野口 1-6-22）

対象：市内在住・在勤・在学の方

※ボッチャ・卓球バレー・シッティングバレーボール・スラロームを体験できます。体験

希望は2/22迄TEL0586-85-7024

一宮市社会福祉協議会 総務課地域福祉グループ

～知っておきたいヘルパーの知識～

「在宅支援介護講座・福祉用具を知る」

2/3、福祉用具を取り扱う「はごろも」さんのご厚意により、ショールームをお借りして、講座を行いました。

講座内容は、

- ◆ 福祉用具を利用するには？
- ◆ 介護保険でレンタルできるもの、購入できるもの
- ◆ 住宅改修について等、お話しして頂きました。

実際にベッドや車椅子を利用しながら、体験することができました。9名の参加者の質問にも、分かり易く教えていただきました。ありがとうございました。

